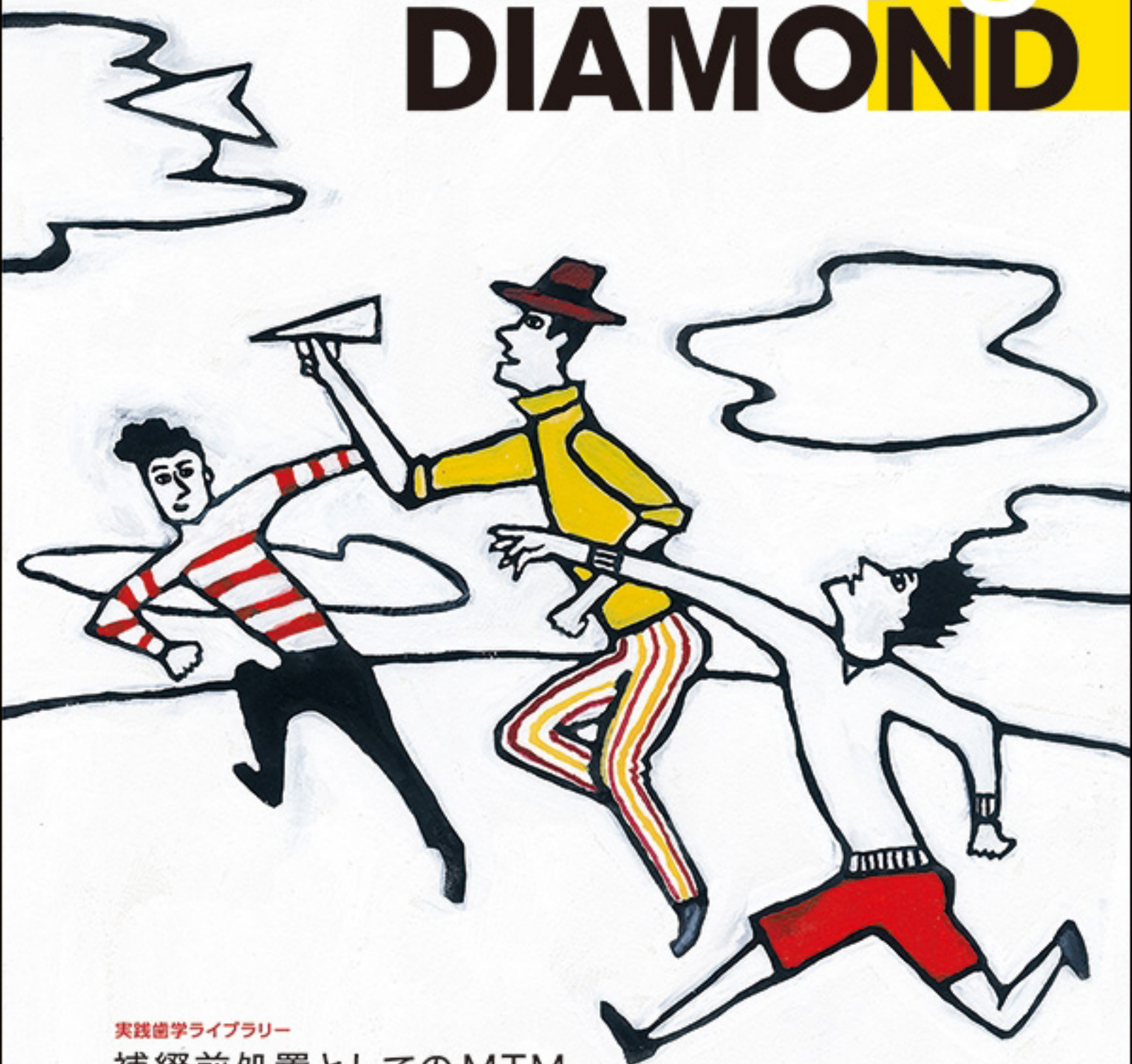


# DENTAL 8 DIAMOND



実践歯学ライブラリー

## 補綴前処置としてのMTM

セファロ分析・診断の有効活用

▶松崎浩成

[rinsho.com](http://rinsho.com) | 顔貌の改善も図る床矯正治療 ▶大澤亜弓

最新の歯科麻酔学を活かした  
安心・安全な歯科臨床 | 歯科治療中の意識消失、心肺停止への対応 ▶森本佳成 横江千寿子

全部床義歯臨床 基本の“き” | 人工歯の排列と試適(審美、機能) ▶駒ヶ嶺友梨子 水口俊介

歯科の最新テクノロジー | Digital Dentistry Smile Analysis ▶中澤 玲、他

## 鎌倉デンタルクリニック

所在地 ● 神奈川県鎌倉市御成町11-2 ヤノヤビル3F

総面積 ● 約120㎡ (36坪)

ユニット ● 4台

スタッフ ● 歯科医師常勤1名・非常勤1名、歯科衛生士3名、歯科助手非常勤1名

患者数 ● 1日約18名

診療時間 ● 10:00~12:30 14:00~18:30 休診日は日・祝祭日

医院HP ● <http://www.kamakura-dental-clinic.com/>



### 三橋 晃

#### profile

院長の三橋 晃先生は、神奈川県生まれ。1991年、神奈川県立歯科大学歯学部卒業。23年間、大学に残った後、2014年4月に現在地にて開業。日本歯科保存学会専門医・評議員、日本顕微鏡歯科学会指導医・理事、他

# 最新機材を駆使した精密な治療に 思いやりを込めて診療

### 緑のある古都・鎌倉で開業

神奈川県鎌倉市の中央部に位置する古都・鎌倉は、三浦半島の付け根に位置し、国宝建築である円覚寺舍利殿を含めて、現在も多く文化財が残る。また、JR横須賀線および湘南新宿ライン、そして江ノ島電鉄線が乗り入れ、交通の便もよい。この地域に住む人々が「裏口」と呼ぶ鎌倉駅西口の正面に、鎌倉デンタルクリニックがある。今年4月から、前院長から引き継いだ三橋 晃先生が院長を務め、診療している。

「父の実家が鎌倉で、昔から馴染みのある

場所でした。私は大学で23年間、教育や臨床、研究に携わってきました。私が大学に勤務していたとき、前院長の奥様を紹介で診る機会があり、それがご縁となって34年という歴史ある当院を引き継ぐことになりました」

前院長は、65歳で引退を決意したという。

「前院長ご夫妻には後継がいらっしゃらなかったため、大学で奥様を診ていた私にお声がけいただいたようです。それが、私が47歳になった昨年9月のことで、私にとって人生のターニングポイントとなる時期だったようです。と言うのも、同時期に別のお誘いも受け、大学に残ることも含めて非常に悩みました。このときほど、自分がどうしたいのか、どうありたいのかを真剣に考えたことはなかったかもしれませんね」

自分で答えを出したいと考えた三橋先生は、奥様だけには相談した。

「私の妻も歯科医師で、都内の自宅に併設して開業しています。私としては、そこを改装して夫婦で診療することも考えました。前述のようなお誘いを受けていることも含め、自分の今後についてそれとなく妻に相談して



◀ 鎌倉デンタルクリニックの外観。鎌倉駅西口正面のビル3階という好立地にある



a  
b  
c



▲待合室の周囲には大きな窓があり、開放感に溢れている (a)。この窓から、正面にある鎌倉駅の駅舎を眺望できる (b)。清潔感のある受付周りには、セルフケアグッズが並ぶ (c)

みました。すると、いろいろなことに興味をもつ私のことをわかっている妻は、臨床や教育、研究といった多方面でかかわれることから、大学に残るのが一番よいのではないかと、暗に伝えてくれました。

妻の言うことはもっともでしたが、前述したように、複数のお誘いを受けるのは私がいま何か一步踏み出すべき時期に来ているような気がして、仕方がありませんでした。そこで、私は選択肢それぞれの道を進んだら、その後どうなるかという可能性についてじっくり時間をかけて書き出し、熟慮を重ねたうえで、この鎌倉デンタルクリニックを承継する道を選びました」

#### ● 居抜き開業でも、ゼロベースの意識で ●

医院の承継を判断するうえで、前院長から多くの資料開示を受けた。

「当院の場合、仲介者がいない医院承継であったため、承継するかお断りするかを判断する資料として、前院長から月にどのくらいの患者が来院していて、どのくらいの収入が得られているのかといった、通常では目にで

きないような資料も、包み隠さず見せていただきました。もちろん、院長が変わり、診療科目も変わるとなれば、その資料の数字をそのまま引き継げるわけではありませんが、一つの目安にはなりました。何より、前院長の心意気が嬉しかったですね」

当初は自分一人で診療し、歯科衛生士の雇用は考えていなかった。

「いわゆる居抜き開業では、ある程度の地盤のようなものがあり、新規というよりはリニューアル開業のように捉える方もいるでしょう。しかし、私の場合は、『確かに前院長がこの地で長年築き上げてきた信頼や実績である程度の数字的な部分は見込めるかもしれない。でも、それを当てにせず、何もかもがゼロからのスタートとして始めよう』と考えました。そのため、当初は私と歯科助手数名という診療態勢で始めようと思っていました。

ところが、承継前から当院に勤めていた歯科衛生士3名が、引き続き勤務したいという意思を示してくれました。歯科衛生士の雇用難と言われるこの時代に、とても幸運なこと

と考えた私は、想定外の人件費がかかってしまうというマイナス面も当然脳裏をよぎりましたが、これも何かの巡り合わせと思い、引き続き残ってもらうことにしました」

開業直後から、スタッフが残ってくれたことによるプラスの面がいくつも表出した。

「ふらっと受付にいらしゃった前院長時代の年配の患者さんが、『院長が変わってしまったんだね』と寂しそうな表情をされていたところに、『〇〇さん、こんにちは！ 院長は変わりましたが、私たちは引き続き残っているのです、またいらしてくださいね』と声がけをして、その場でアポイントをとって帰られることがありました。

また、院長が掃除なども率先してやるべきだと考えていた私は、手始めにトイレ掃除から始めようと思っていたところ、すでにスタッフたちが当番表を作り、率先して院内の清掃等々の割り振りを決めてくれていました。私が言わずしても機転を利かせてくれ、また医院のために考えて行動してくれるスタッフには、日々感謝しています」

それでも、居抜き開業による悩みはあった。

「前院長時代の診療時間は10時から18時半、昼休みが12時半から14時までと、毎日6.5時間の枠組みのなかで、日々診療に追われてい

たと聞きました。私は時間に追われて診療することはできるだけ避け、せめて朝は9時半から診療を始めたいと考えていました。また、前院長時代は土曜日と日曜日が休診でしたが、私は歯科衛生士1名に土曜日に出勤してもらって診療をしようと考えたこともあります。ただ、自主的かつ積極的に動いてくれている彼女たちの姿を見て、しばらくは以前のままでいこうと思うようになりました。

時間をかけたよりよい治療も行っていきたいと考えている私は、現在土曜日に歯科助手経験のある私の妹に手伝ってもらい、2人でそのような自費の診療をしています」

#### ● 診療の質を高めるマイクロスコープ ●

地域の歯の健康を守るために、診療科目は自然と多岐にわたる。

「小さな子どもからご年配の方まで、鎌倉周辺地域の方々の歯の健康に貢献できる歯科医院でありたいと考えています。そのため、歯科一般から予防歯科、口腔外科、インプラント、審美歯科と幅広い科目で診療しています。また、大学勤務時代にルーティンで用いていた歯科用マイクロスコープによる根管治療やう蝕治療、歯周病治療も行っています。なかでも、最大限に効果が発揮されるのは、



◀左：診療中の三橋先生とアシストにつく歯科衛生士の那須 恵さん  
中央：歯科用マイクロスコープを使って診療する三橋先生  
右：滅菌・消毒作業を行う歯科衛生士の小池咲子さん

根管治療です。従来のような手指の感覚だけを頼りに治療を行うのではなく、複雑な根管を拡大して目視しながら施術することで、高い精度の治療を提供できます。また、う蝕治療に用いた場合は、患部を拡大視野下で捉えると必要最小限の感染歯質だけを取り除くことも可能となるため、余分な歯質を削らなくて済みます」

高い診療技術をもつ三橋先生だが、何よりも患者さんの気持ちを大事にしている。

「最良の歯科医療を提供したいと考えていますが、まずは患者さんに安心して受診してもらうことが大切だと考えています。そのため、治療内容について丁寧に説明し、患者さんも術者も納得したうえで治療を始めるようにしています。さらに、リラックスしていただける空間づくり、患者さんに寄り添った温もりある対応と笑顔を心がけています」

大学病院では保存科に籍を置いていた。

「大学病院では、ほぼマイクロスコープを使って診療をしていました。エンドに限らず、歯周ポケットをのぞいたり、スケーリング・ルートプレーニングやコンポジットレジン充填時にも用いていました。開業した現在は、毎週土曜日はマイクロスコープを用いた診療に限定し、アポイントも1時間以上確保したいと考えています。そうすると4、5名の患者さんを診るのが精一杯ですから、必然的に自費診療に限定しています」

歯科衛生士たちにも、マイクロスコープを用いた診療に取り組んでほしいと考えている。

「マイクロスコープを使った診療は肉眼のそれとはまったく異なり、より正確な診断と精密な診療を患者さんに提供できます。当然、



▲鎌倉デンタルクリニックのみなさん。左から、那須さん、三橋先生、小池さん、歯科衛生士の清水麻代さん

慣れて自分のものにするまでには、ある程度の時間と研鑽が必要ですが、診療の精度は比べものにならないくらい向上します。当院では今後、歯科衛生士たちにもマイクロスコープを使って診療してほしいと考えています。いまは、その教育方法について模索しているところです」

開業を考える歯科医師へのアドバイス。

「前述のように、私は23年間大学に残り、遅まきながら47歳での開業となりました。縁あって若くして開業し、成功を収めた大学時代の親友の一人が、「遅いか早いかの違いはあれど、誰にでも開業の縁やチャンスは必ず回ってくる」と言っていました。私は遠回りしての開業だったかもしれませんが、いまはこれまでの月日は私にとって必要なものだったのだと考えています。開業を悩んでいる先生方には、私が友人からかけられた言葉をそのまま贈りたいと思います」

晴れやかな表情でインタビューに答える三橋先生の表情から、現在の充実ぶりが感じられた。新生・鎌倉デンタルクリニックも、40年、50年と地域の健康を支え続けていくに違いない。